

法典ほうかつ便り

第6号

当センターでのイベントの一部をご紹介します！

法典福祉まつり

12月7日（日）第21回法典福祉まつりに、今年も出展させていただきました。今回は新たな試みとして「認知症クイズラリー」と「認知症紙芝居」を実施しました。認知症クイズラリーでは、公民館内の壁に認知症に関するクイズを掲示し、参加者の皆さまに楽しみながら認知症について学んでいただきました。クイズは大人用と子ども用の2種類を用意し、全問に回答された方には糸引きくじで景品をお持ち帰りいただきました。また「認知症紙芝居」も子どもから大人まで幅広い世代にご参加いただき、認知症を分かりやすく理解していただく機会となりました。同ブースでは福祉用具の展示も行い、多くの方に関心を寄せていただきました。当日は合計88名の方にご来場いただき、盛況のうちに終了しました。



藤原サブセンターから



東西に長い法典地域にお住まいの、藤原1～3丁目・上山1・2丁目の皆さまが、より気軽に相談できるよう、昨年5月に「藤原サブセンター」を開設しました。開設当初は相談件数も少しずつでしたが、地域の皆さまに知っていただくにつれ利用が増え、現在では多くのご相談をお受けしています。

2月には、エステート上山の管理事務所にて、藤原サブセンターのケアマネジャーとともに、「地域包括支援センターの役割」や「介護保険の使い方」について分かりやすくお話しする機会がありました。参加された皆さまからは、その後も「相談したい」と足を運んでくださる方が増えています。

尚、説明会や懇談会は、地域の集まりにこちらから伺って開催することも可能です。「うちの会でも話を聞きたい」など、ご希望があればお知らせください。

これからも地域の皆さまに寄り添い、安心して毎日を過ごしていただけるよう、職員一同、心よりご相談をお待ちしております。

発行元：法典地域包括支援センター

船橋市馬込西1-2-10 寿ビルA101 ☎047-430-4140

藤原サブセンター

船橋市藤原3-2-15（西部福祉会館内） ☎047-407-1555

月曜日～金曜日（土日祝日、12/29～1/3休）午前9時～午後5時

担当地域：丸山、上山町、馬込西、馬込町、藤原



法典地域包括支援センターの取り組み

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんやその家族から、介護や福祉、医療、健康、認知症などの相談に応じ、できる限り住み慣れた地域で暮らせるよう支援を行う相談窓口です。
主に以下の4つの取り組みを実施していますが、その時期に合わせたトピックスをご紹介します。

総合相談

さまざまな相談に対応します



サミカフェ出張相談

4月15日・21日に、サミットストア馬込沢駅前店のイートインコーナー「サミカフェ」で出張相談会を行い、様々なご相談が寄せられました。今後も開催予定ですので、ぜひご利用ください。



権利擁護

みなさんの権利と尊厳を守ります



地域全体で見守りを

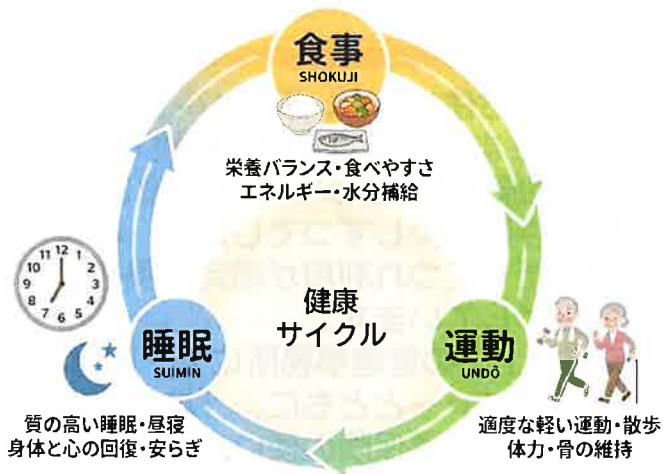
消費者トラブルで、高齢者被害が急増中



ちょっとした変化に気づいたら、まずは声掛けを。
つなぎ先は消費者ホットライン『188』や警察へ。

介護予防ケアマネジメント

暑い季節に負けない健康づくりを



包括的・継続的ケアマネジメント

法典サポートネットワーク



令和8年2月27日（金）に第5回法典サポートネットワークを開催しました。今回はゲストスピーカーを設けずに、参加者（54名）の皆さんと「法典地区の課題や強み」についてゆっくりと話し合う時間を作りました。多職種、他業種の参加者の皆さんと様々な視点から意見交換がなされ、全体でも共有することができました。

次回は9月18日（金）の開催を予定しています。



認知症サポーターステップアップ講座



2月22日、エステ・シティ船橋にて「認知症ステップアップ講座」を開催しました。すでにサポーター養成講座を受講された方を対象に、より実践的な内容を学んでいただきました。講義だけでなく、参加者の皆さんと「もしも困っている人を見つけたら？」という場面を設定し、本人の気持ちや対応について一緒に考えることで「気づき・受け止め・つなぐ」という具体的なサポート方法を確認しています。こういった機会の積み重ねが、これからの地域を支える大きな力になると思います。認知症になっても安心して暮らせる街を、一緒に作っていきましょう。